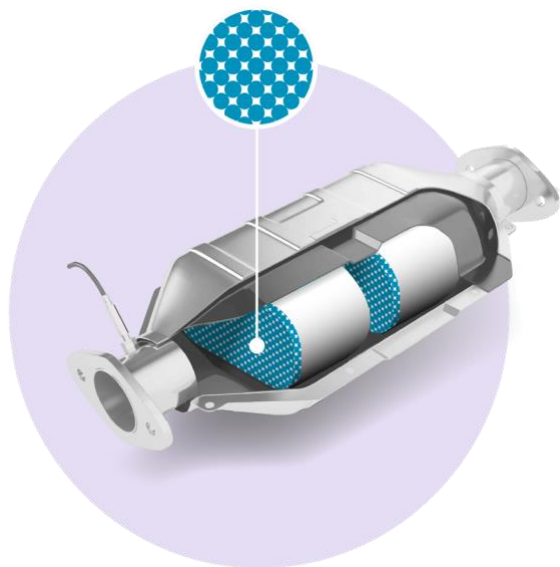




廃触媒 リサイクルの プラチナ供給

廃触媒の流通とリサイクルの
収益性で供給量が決まる

メタルをリサイクルすることで得られる PGM は PGM 供給の中核となる分野だ。平均すると 2024 年までの 5 年間のプラチナ供給全体の 24% がリサイクルによるものだった。PGM はリサイクル処理を経ても機能的な特性を持ち続けるため、処理後のメタルは鉱山から採掘したメタルと同じように利用することができる。その意味で PGM は持続可能な循環型経済において重要な役割を果たすと言える。

既存の PGM 鉱山の埋蔵量が減少する中で、プラチナ供給におけるプラチナのリサイクルの重要性はますます高まっている。ちなみに今年予測されているプラチナ鉱山生産は 6% 減って 168.7 トンで、コロナ禍以前の 5 年間の平均よりも 21.8 トン (11%) も少ない。

廃触媒をリサイクルすることで得られる PGM (プラチナ、パラジウム、ロジウム) は、メタルによっては PGM リサイクル供給全体の 75%~84% を占める場合もある。

中でも収益の観点からは、パラジウムのリサイクルが最も重要だ。

1970 年代に初めて触媒装置が自動車に搭載されて以来、世界中に「使用中」の PGM が蓄積されており、理論的には将来の供給を賄うことができるはずで、リサイクルを推進する法律は世界各国で制度化されており、PGM 業界のリサイクル供給網は確立されている。

しかし、廃触媒のリサイクルによる PGM の供給量は、実際は廃触媒の流通量とスクラップ業者の収益見込みに左右されている。

価格の弾力性

『[プラチナ投資のエッセンス 8月20日](#)』で既に解説したように、廃触媒の PGM リサイクル供給は、従来考えられていたよりも価格弾力性があり、PGM 価格が低い時にはリサイクル供給は減る傾向があることが明らかになった。



現在の価格はプラチナとパラジウムのリサイクル供給を押し上げる効果があるが、パラジウムが供給過剰になればリサイクル供給は減る。出典: メタルズフォーカス(2019年と2024年の (Pd)、2025年の (Pt)、それ以降は WPIC リサーチ

これは2022年から2024年のプラチナ市場について言えることで、この期間はPGM 価格が低かったため、スクラップ業者は廃触媒を処理しても採算が取りづらくなって廃触媒をため込んだ結果、プラチナのリサイクル供給が減少した。スクラップ業者は廃車の解体で鉄、座席生地や使用済みエンジンオイルのリサイクルなどでも収益を得られるため、廃触媒を手元に置いておくことができるのだ。

最近の PGM 価格の上昇でリサイクルビジネスの収益性は改善しており、2025年のプラチナとパラジウムの自動車のリサイクル供給はそれぞれ6%と8%増える見込みだ。

さらに、廃触媒のリサイクルによるプラチナ供給は2024年から2029年にかけて、年間で

平均 4.7%、パラジウムのリサイクルも同じ時期平均 7.5% と今後も増える予測だ。この予測とともに、年初からの PGM 価格の上昇を背景に廃触媒の流通が増え、リサイクルの収益性が上がることを前提としている。

しかし、廃触媒のリサイクルによる PGM 供給は価格に影響を受けるため、2027年以降に予想通りにパラジウム市場が供給過剰になれば、プラチナのリサイクル供給は伸びない可能性もある。パラジウムが供給過剰になれば価格が下がり、リサイクル経済において最も大きな影響を持つパラジウムのリサイクル収益が落ちれば、業者は廃触媒の処理を行わずにため込む可能性があるからだ。

Contacts:

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

Brendan Clifford, Institutional Distribution, _____

bclifford@platinuminvestment.com Edward Sterck, Research, _____

esterck@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com



免責条項: © 2025 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・

カウンシルの名称、ロゴ、及び略称WPICは、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。